

平成26年度 奈良県歯と口腔の健康づくり検討委員会 議事要旨

日 時:平成27年3月23日(月) 午後2時00分～午後4時05分

場 所:奈良商工会議所 地階 AB会議室

出席者:(委員) 桐田忠昭、藤岡庄司、松村清子、吉田廣子、吉福美香、和東栄美

概 要:

1 <議題1> なら歯と口腔の健康づくり計画の指標の最新値等について

以下、主な質問・意見。

- ・ むし歯のない12歳児の割合が高い市町村と、歯肉に炎症所見がある人の割合が高い市町村に矛盾があるのではないか。
- ・ 目標値との関係を市町村別に示す際、分母による影響を避けるため、複数の村を合わせて分析してはどうか。
- ・ 市町村別に上向いているのか下向いているのか健康なのかどうかということが一覧表でわかるようになれば、色んな面が見えてくるように感じる。
→ 今後のデータ蓄積の中で検討を行う。(事務局)
- ・ 施設協議会、歯科医師会のどちらからも「老人福祉施設・老人保健施設で定期的な歯科検診の実施を進めます」とか「して下さい」というような情報が入ってきていない。どちらからでもよいので、お勧めのメッセージが入れば取り組みが進むのではないか。
- ・ 歯科医師による定期的なチェックを受けている人の割合と、8020達成率については、山間部や南部の機会の乏しいところで率が低いように感じる。
- ・ 学校での集団歯科口腔保健指導について、児童数が少ない学校だと、全学年を一堂に集めて行うため、話のレベルを低学年に合わせざるを得ない点が課題。
- ・ 中学校は集団歯科口腔保健指導を行う時間と機会の確保が難しいのが現状。
- ・ 実施回数が多いのに参加人数が少ない市町村事業については、是正するよう指摘すべき。
- ・ 妊婦に対する市町村歯科口腔保健事業の対象者数に対するカバー率は1割に満たず、5割程度をカバーするような取り組みが必要に思う。

2 <議題2> 歯科口腔保健に関する平成26年度の取り組み内容と平成27年度の実施計画について

以下、主な質問・意見。

- ・ 事業参加者は意識の高い人なので、そうでない人に事業参加してもらうのが重要と思う。
- ・ 60歳から80歳の間で歯をたくさん失うので、この20年間が大事な時期だと感じている。
- ・ 事業参加によりポイントが蓄積されるような、お得感のある楽しい取り組みができれば検診受診率も上がるのではないか。
→ 後期高齢者医療広域連合と県が一緒になって取り組んでいる地域巡回指導・普及啓発事業は今年4年目になる。また、来年度から後期高齢者医療広域連合の事業と

して、75歳以上非保険者を対象に定期健康診断をしていく中で、年齢は限定になるが歯科検診・歯科指導も入れて進めることとしている。(事務局)

- ・ 高齢者の歯科口腔保健の重要性を浸透させるため、要介護認定審査の際、ケアマネによる74診査項目の中にもしくは医師の意見書の中に「何本歯が残っているか」ということを記入するようにはできないか。あと口臭の有無も追加したい。
→ 即答できないので持ち帰って検討させていただく。重要性は認識しているので、認定審査員の新任研修とか、意見書を書く医師への研修の中で伝達する機会を設けていきたい。(事務局)

- ・ う蝕ハイリスク児歯科保健指導モデル事業について、対象児は年間通じて存在するので、通年事業としてほしい。一時入所児について虐待ばかりでなく最近は非行がとも増えてきているが、同じ部屋で指導を行っているので分けて実施できるよう併せて検討お願いしたい。
→ 国費財源事業のため、開始が秋口からになることがある。どのように財源を組めば実施できるかについては、担当課と相談させていただく。(事務局)

- ・ 地域巡回指導・普及啓発事業について、予算額20,000千円で20回実施ということは、1回あたり100万円ということか。
→ 「誤嚥にナラン！体操」の開発経費と、資料に計上していない運動の巡回啓発を歯科関係以外で80回程度行っており計約100回の実績がある。この合計で20,000千円の事業となっている。(事務局)

- ・ 平成34年度までに健康寿命日本一を目指すという目標が、県民にあまり浸透していないように思う。県は、どういう項目をどのように目指しているかを公表して、県民は健康寿命日本一を目指していることを自覚する必要があると思う。
→ 今年度たばこを止めるツールと減塩の啓発ツールを作成し、来年度から本格的に普及を進めたいと思っている。その際、健康寿命を日本一にしたいということも言っていきたい。県民だよりの中にも、毎月一頁「養生訓」というコーナーを設け、その中で毎月テーマを変えてPRを実施しているところ。(事務局)

- ・ がん患者に対する口腔ケア対策支援事業については、医科歯科連携によるがん対策の推進を目指し、歯科併設されていない病院の近隣の開業歯科医に講習を実施して登録医となり口腔ケアを実践してもらおうことを考えている。医師会方面にも周知いただきたい。

3 <議題3> その他

特記事項なし

以上